広報 いまが収

健康で勤労にはげむ明るい町にいたしましょう。（町民憲章より）



"新しく出発する4月"

☆……今年の4月、町内小学校への新入学児童は143人。中学1年生は143人です。希望に満ちた新1年生は元気いっぱいです。（写真＝4月6日今金小学校で）

☆……4月は統一地方選挙が行われ8日に知事、道議選が終り、22日は町長、町議の投票日です。みんなで力を合せ、明るい住みよい町づくりへスタートしましょう。

昭和54年
4月号
No. 248

財政運営の合理化で〝新しい町づくり〟

昭和54年度の町政執行方針

三月十日から開かれた第一回定例町議会で、河端町長は本年度の町政執行方針を次のように明らかにしました。そのあらましを紹介します。

健全財政を堅持

昭和五十四年度の地方財政は、昨年同様長期化する不況から脱出するため、公共事業の拡大を見込んでおり健全財政を維持するために多大の努力を要する事態に至っております。

新年度における国の地方財政計画の内容は、昨年に引続き借金体質が一段と強まり、地方自治体が直面しております危機的な状況がそのまま数字に浮き彫りにされている次第であります。



このような我が国経済の急激な変化を背景として、本町の新年度の予算編成にあたっては、歳入の確保については従前にまして意を用い、経常経費の支出は可能な限り節減に努めるとともに投資的事業に充てるよう配慮いたし、健全財政を堅持して町政の推進を図ろうとするものであります。

なお、新年度の予算編成は統一選挙を迎えておりますので、且つ事業として計画していた統合中学校の建築事業および国保病院の増改築事業は、当初予算に計上しておりませんので、この点ご理解承りたいと存じます。更に、臨時地方道整備事業も将来の方向、基本的課題を充分検討するため、当初予算では措置せず追加補正をいたす考えでおります。

老人の生きがい対策に福祉バス購入

町民福祉の充実

町民福祉の向上については、昨年の減速経済下にありながら、常に後退することのないよう、特に社会的に弱い立場にある方々に対し、きめ細かい配慮をしてまいりたいと考えています。

身障者対策については、重度身障者の医療費を措置するほか、管内の身障者スポーツ大会が本町で開催されますので、活動費を計上いたしました。

老人福祉対策については、老人の生きがい対策として老人福祉バスを購入し、老人の研修をはじめ、各老人クラブとの交流をはかり、更に広く社会教育の面からも有効に活用していきます。

児童福祉については、常設保育所のほか、委託施設、季節及びへき地保育所六ヵ所の運営を図るとともに、幼児保育につきましても最善の努力をいたします。更に、六歳未満児の入院と母子家庭における児童の通院にかかる医療費、また、母親に対する入院医療費の扶助について配慮いたしました。



スポーツ大会の前にも血圧測定

次に保健衛生の推進でありますが、最近の高齢化社会に伴って疾病構造も種々変化を来たしておりますので、住民各位において健康管理の認識の高揚をはかるために積極的な指導を推進してまいりたいと存じます。胃腸病および婦人科がん検診は、早期発見、早期治療が急務でありますので、受診について積極的に推進を図ります。

妊婦、乳幼児については、特にむし歯の予防が大切でありますので、町内在住の歯科医師並びに歯科衛生士の指導を願い、母子共に健康な歯を育てるために努力してまいる所存です。

御園橋・上南原橋を永久橋に架換

生活環境の整備

町民の生活環境の機能を高め、産業経済の振興を図るためには道路交通網の整備が極めて重要でありますので、今後とも強力に推進してまいります。更に、小規模下排水等の整備についても原材料支給の形の中で配慮したいと考えております。

町道の改良については、昨年に引続き神丘六線々、豊田線の二路線千四百㍍、道路舗装については、昨年改良した白石線千四十八㍍を実施いたします。

橋梁の整備については、御園橋十七㍍、上南原橋二十三㍍を永久橋に架換いたします。その他道路整備としては、臨時市町村道整備償事業がありますが、箇所付等において今後充分検討するため留保しておりますので、この点ご理解願いたいと存じます。

街路事業については、中央通り線四百三十㍍の路盤工並びに橋梁の上部工を実施いたしますが、舗装は地盤変化を考慮いたし経緯を検討のうえ、五十五年度に施行する計画です。

近隣公園整備事業については、最終年度を迎え植樹を中心に施工し完成する予定であります。

次に除雪関係でありますが、冬期間の交通確保のため防雪柵五百三十㍍を計画し、木製のものを逐次、鋼製に取り替えいたします。日進地区の雪上車については、耐用年数も経過するため新規購入いたすべく予算措置し、補助対象として要請する所存です。また、ロータリー付タイヤショベル一台を導入し、交通の確保に努めたいと考えております。未除雪区間の延長等にも配慮いたし住民の要望に応えてまいりたいと存じます。

公営住宅の建設については、本年度チプタウシナイ川の改修に伴ない緑町にある公住の一部が移転対象となる予定でありますので、これを含め二棟八戸の建設を計画いたした次第であります。

美利河住民の生活再建対策に全力

美利河ダムについては、昭和四十四年から予備調査六ヵ年、五十年から実施調査四ヵ年を経て、いよいよ本年度から建設着工の運びとなりましたことは、議員および対策本部委員各位のご尽力はもとより、美利河部落住民のご協力の賜であり衷心より感謝を申し上げる次第であります。特に、本事業につきましては、本町開拓以来の大事業であるだけに町民と共に喜びにたえないところであります。

本年度は、建設事業費として五億円が予算付され、総事業費二百三十億円の膨大な費用を投入して七年間の計画をもって、昭和六十年度を目途に取り進められることになりました。本ダム建設用地として民有地百六十八㌶。国有地四十七㌶、全体で二百十五㌶の用地の必要性に伴ない、美利河部落八十四世帯のうち、七十一世帯の方々が移転補償費を受けることになり、近日中に建設省と美利河ダム対策協議会との間で協議に入る段階になっておりますので、町としても関係住民の生活再建のため、補償額決定については最善の努力をいたす所存であります。



ダム建設で湖底に沈む美利河部落

本年度は特に、関係者の再建対策のため、生活再建の意向調査および生活実態調査を国から委託を受け強力に推進すると共に、美利河部落再建のため、住宅団地の設定、道路網の整備、公共施設の整備など、ダム周辺整備について水源地域整備計画を樹立し、幅広い行政施策を要する現況に対し、誤りのない行政を推進いたします。

消防対策については、町民の人命および財産を守る見地から、本年度は特に、予防消防に重点を置き予防査察の実施、婦人防火クラブの組織の拡大化および育成助長を図り、本来の使命を達成するよう努力してまいります。施設の整備は消防自動車格納庫の改築、消防ポンプ車の購入、防火貯水槽の設置および井戸式消火栓等について予算措置した次第であります。

交通安全対策につきましては、交通道徳の高揚と交通安全運動の推進を図るため、一層の努力をしてまいりたいと考えます。なお、交通事故防止のためガードレール設置として約百㍍を予算措置し、実態調査のうえ危険な箇所に設置いたしたいと存じます。

転作田の有効利用と畑地開発の推進

産業の振興と開発

今日の農政を取りまく諸情勢は米の余剰をはじめとして農畜産物の輸入の拡大、価格の不安定など極めて厳しいものがあります。これに対処して生産性の向上をはかるためには、農業者のご理解のもとに、転作田の有効利用および畑地の開発による生産の増大並びに関係機関の指導のもとに農業機械等の共同利用の促進により、営農経費の節減を推進してまいる所存であります。

米の生産調整につきましては、水田利用再編対策の第二年次として行政的には、前年同様の配分がなされる見込みでありますが、米の需給事情の現状と、食糧管理制度の米価に対する安定機能を考えるとき、稲作農家の高度の理解のもとに、調整目標の達成に努力しなければならないと考えています。更には、前年の実績を踏まえて急務とする転作田の有効利用の推進と畑地の生産性向上のため、土壌改良剤の投与三百㌧を計画し、これに対する補助を四百五十万円計上いたしました。

転作促進対策事業としては、国費・道費を導入して集団による機械の共同利用二十地区を計画いたし、予定事業費の二分の一補助導入を計上して営農経費の節減を図ろうとするものであります。

第二次農業構造改善事業、山村地域特別対策事業については、四ヶ年計画の最終年度を迎え、本年度は簡易給水施設二ヵ所、圃場整備四・一㌶、農地造成十一・六㌶、馬鈴薯選別機一式を計画し、畑作、米作の振興を図ろうとするものであります。

酪農振興につきましては、懸案事項の酪農三相導入について七十四戸の同意を得て、本年度より実施を計画、総事業費三千八百八十二万円に対し、国・道補助三分の二、町費九百七十九万円を措置して、今後における酪農家のバルク導入を促進し、乳質の改善と労働の省力による多頭飼育によって経営の健全化を図ろうとするものであります。また、本町の酪農基地である模範牧場は、優良牝牛の供給並びに育成牛の預託等、重要な役割を果しておりますので、引続き基礎牛の導入、育成放牧等につ

いて、それぞれ実績と計画に応じ助成額を計上した次第であります。

更に、牧場経営負担金については、八カ年に亘り二千七百万円の契約事項が前年度完了したところでありますが、経営の現状からして助成継続の必要性を認め、本年度において八百七十万円の助成を計上、牧場経営の円滑化を図ろうとするものであります。

道営田代地区農地開発事業については、地区面積九二・二㌶の全計調査も終り、本年度より事業費五千百万円をもって一六・九㌶を実施することになりました。

国営今金東部農地開発事業については、調査三年次を迎え国費二千七百万円の予算により地区調査の総仕上げをする訳けですが、現在までのまとまりは、参加者四十一名、面積二百二十七・四㌶程度で、国営採択面積四百㌶に対し五七%余りであります。本年は更に地区の拡大等をはかり、不足面積の確保に最善の努力をしてまいりたいと考えておりますが、面積確保の不能な場合は道営事業として実施したいと存じます。

八束地区圃場整備事業は、工事着工第二年目として事業費三億五千万円をもって六一・五㌶を実施する予定であります。

農道整備事業につきましては、継続事業の白石第二農免道路も五十三年度で路盤工も終り、五十五年の二カ年で全線舗装の計画でしたが、関係機関のご配慮により本年度をもって実施完了の見込みであります。更に日進開拓道路補修青木地区山村基幹農道の継続、新規路線では懸案の日進地区農免道路を三カ年計画で実施します。



2年次を迎えた八束ほ場整備事業

二年計画で統合中学校の建設に着手

教育の振興

懸案であります中学校統合校舎の建設計画でありますが、昭和四十一年に議決されております趣旨により、一貫した形の中で今日まで一校統合に向けて取り進めて来たところであります。

学校統合の基本は、学校規模の適正化によって教育効果をあげることでありますが、一方、分散されている学校が統合されて生徒が同じ学校に一諸に学ぶということは、地域の人々の精神的母体としての機能からみて、住民の間に連帯的あるいは協同的な新しい住民意識を醸成していく目的にも添えるものと存じます。

今日まで幾度となく地域住民の理解を得るべく懇談会を重ねてまいりましたが、その経過の中で着工を一年遅れざるを得ませんでしたが、協議会でも審議、ご理解をいただいている建築計画は、第一年次に今金中学校危険改築とし、二年次以降は吸収統合として取り進めることとし、本年度より着工の運びとなります。

今回の当初予算には種々の都合により予算措置はしておりませんが、且下実施設計に入っておりますので、その内容等は今後議員協議会の中で充分審議賜わり、次回の補正予算の機会に提案いたしますので、この点ご理解賜わりたくお願い申し上げます。

＊　＊　＊

以上、町政執行に関する方針の大綱を申し述べましたが、小職に与えられました任期もあとわずかになりました。

新年度の予算編成は、統合中学校の建設および国保病院の改築にかかる部分は予算措置をしなかった訳でありますが、これらに係る財源は留保しており、これを除いた形の中では年間予算の姿になっております。

昭和五十四年度は国の財政を同様、円高景気の停滞と相まって地方財政を取りまく環境は、ますます厳しい事態に直面しております。町の行政を顧みるとき、福祉、教育、生活環境の整備、地域産業の振興など行政需要は山積しており、これらの施策の実施はいずれも緊急を要し、推進に迫まれております。今後は自ら行財政運営の合理化を図り、新しい環境に対応できるよう努力し目的達成のため決意を新たにしているものであります。

一般会計は二十四億円に

五十四年度の骨格予算決まる

第1回定例町議会

第一回定例町議会は三月十日から十九日までの六日間開かれ、新年度各会計予算、五十三年度各会計補正予算、町奨学資金貸付基金条例の一部改正など議案十四件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

この議会で決まったおもなことは次のとおりです。



議会の動き

◇五十四年度各会計予算の概要

新年度町予算の規模は、一般会計が二十四億四千七百十二万四千円、三特別会計で十一億七千五百十六万九千円、合わせて三十六億二千二百二十九万三千円になり、前年度当初予算に比べ一般会計で一・三%減、特別会計で一五・六%の増となっています。（一般会計のおもな仕事の内容は六・七ページに記載しました。）

◇五十三年度一般会計補正予算

五十三年度の最終補正予算は歳入歳出それぞれ六千二百万三千円が追加され、予算総額は二十八億二千四百十二万八千円になりました。

追加のおもなものは、公有財産（土地）購入費に二千七十六万七千円、公有備品購入費に一億二千五百五十万円、地方債元金、利子償還金五千二十八万九千円、第二幹線川排水鉄道横断工事負担金三百三十九万八千円、中学校建築設計委託料八百万円のほか、各事業執行に伴う端数が減額されました。

これに対し歳入では、町債三千四百九十万円、地方交付税一千五十六万円、町税一千三十九万三千円、自動車取得税交付金七百万円が見込まれ、国庫支出金三百五十八万九千円などが減額されました。

◇五十三年度特別会計補正予算

国保会計事業勘定では、保険給付費など一千五百九十二万四千円が追加され、予算総額は五億六百二十四万一千円になりました。

国保会計施設勘定では、病院事業収益で一億一千九百八万四千円が追加され、収益的収入総額は七億四千百四十四万円に、支出では給与費など六十万八千円が減額され収益的支出総額は六億二千百二十九万六千円になりました。

簡易水道会計では、財政調整基金積立金に百八十万円が追加され、予算総額は三千九十九万五千円になりました。

社会科の勉強に訪れた小学生が見守る中、改選前の最後の町議会

町教委に社会教育指導員を設置

◇今金町将学資金貸付基金条例の一部改正

奨学資金の効率的な運用を図るため、基金の額を一千五百万円から二千万円に改められました。

◇寿の家条例の制定

日進、白石の寿の家設置に伴って、その管理と運営を図るために定められました。

◇今金町社会教育指導員設置、報酬額の支給条例制定

社会教育の振興を図るため、町教委に社会教育指導員（非常勤職員）一名を置くことを定めました。

◇公平委員会委員の選任

辻理さんの任期満了に伴い、後任に吉田辰雄さん（62歳・末広町）が選任されました。

◇感謝します◇

■社協愛情銀行へ予託・払い出し

▽幅政一さん（南栄町）から一万円を社協法制化推進基金へ▽大倉啓太郎さん（昭和町）から三千円を光の里学園に、二千円を小百合保育園へ▽小山真一さん（大和町）から二万円を豊寿園へ▽種川青年団（代表渡辺教勝さん）からモチ米八㌔、介護奉仕を豊寿園で▽山田喜美さん（種川宮前）からアヤコ各五十個を今金保育所と小百合保育園へ▽こぶし座（代表佐藤隆さん種川宮前）から三万三百五十円を社協法制化推進基金へ▽金原婦人会（代表中野キヌ子さん）からおむつ百八十六枚、みかん一函を豊寿園へ▽佳吉小、佳吉婦人会からみかん一函を豊寿園へ▽今金機動訓練校（代表八重堅辰雄さん）からゴミ箱四個、植木鉢二十個を光の里、今金保育所、幼稚園へ▽大倉啓太郎さん（昭和町）から三千円を光の里に、二千円を小百合保育園へ▽今金婦連協（会長高橋政子さん）から文化祭バザー益金三万円を社協法制化基金へ▽今金町連合青年団（代表渡辺修さん）から手打そば十三㌔を豊寿園へ飯沼真佐夫さん（東町）から全快祝を返上して各五万円を豊寿園と光の里へ。

今年予算はこのように

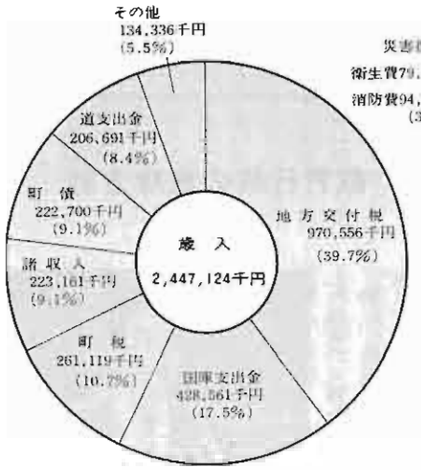
本年四月は、町長・町議の改選期に当たるため、懸案の統合中学校の建設など大型事業が予算措置されない骨格予算のため、一般会計は前年度当初に比べ一・三%減の二十四億四千七百万円余になりました。このなかで事業などに使う投資的経費は七億九千六百二十万円（全体の34%）また、消費的経費の人件費が四億四千七百四十万円（19%）物件費は三億三千六百六十万円（15%）公債費一億九千九百五十万円（9%）補助費二億三千百五十万円（10%）になっています。

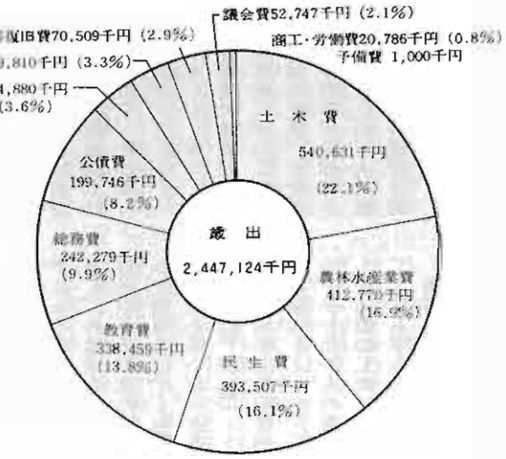
歳入では、地方交付税が九億七千五十万円と全体の40%を占めており、自主財源の町税は二億六千百十万円（11%）にとどまり、国・道支出金が26%になっています。

一般会計予算のおもな使いみちと歳入歳出割合をお知らせいたします。



一般会計歳入歳出割合





一般会計 投資的事業 7億9千6百万円

住みよい環境づくり

- ▷神丘6線線道路改良事業…… 7,445万円
- ▷豊田線道路改良事業…… 6,055万円
- ▷白石線道路舗装事業…… 1,610万円
- ▷神丘8号線など防雪柵設置事業…… 2,267万円
- ▷御園橋架換事業…… 4,332万円
- ▷上南原橋架換事業…… 1,987万円
- ▷道路台帳整備事業…… 1,500万円
- ▷除雪機械・雪上車購入事業…… 2,745万円
- ▷除雪・町道補修など道路維持管理…… 4,629万円
- ▷美利河ダム対策事業…… 1,086万円
- ▷第2幹線川支線改修事業…… 909万円
- ▷都市計画街路事業…… 7,172万円
- ▷近隣公園造成事業…… 2,165万円
- ▷公営住宅（2棟8戸）建設事業…… 5,243万円
- ▷投資住宅購入事業…… 482万円
- ▷農業施設災害復旧事業…… 6,909万円
- ▷地籍調査事業…… 1,747万円
- ▷消防施設整備事業…… 1,705万円
- ▷檜山広域消防組合負担…… 7,740万円
- ▷環境衛生事業…… 4,558万円
- ▷住民活動推進…… 188万円
- ▷交通安全対策事業…… 472万円
- ▷交通安全対策事業…… 398万円
- ▷簡易水道特別会計へ繰出…… 718万円

豊かな福祉社会の建設

- ▷社会福祉法人光の里学園、豊寿園補助…… 851万円
- ▷老人医療扶助費…… 7,826万円
- ▷老人手当…… 132万円
- ▷老人福祉バスの購入…… 350[illegible]
- ▷老人クラブ運営補助及び活動費…… 163万円
- ▷敬老会交付金…… 68万円
- ▷社会福祉協議会補助…… 176万円
- ▷老人家庭奉仕業務…… 145万円
- ▷心身・身体障害者家庭奉仕業務…… 290万円
- ▷重度心身障害者医療扶助費…… 689万円
- ▷児童手当扶助費…… 2,615万円
- ▷乳幼児・母子家庭等児童医療扶助費…… 326万円
- ▷フッソ歯面塗布、母子衛生…… 246万円
- ▷患者輸送車の運行…… 177万円
- ▷保健衛生業務…… 365万円
- ▷X線撮影、がん検診など予防業務…… 552万円
- ▷今金常設、季節保育所運営費…… 5,193万円
- ▷今金小百合保育園運営費…… 2,188万円
- ▷部落保育所運営補助…… 140万円

教育文化の振興と人づくり

- ▷へき地教員住宅新築・増築事業…… 730万円
- ▷教員住宅購入事業…… 1,089万円
- ▷金原校改修事業…… 300万円
- ▷[illegible]金町教育研究会交付金…… 250万円
- ▷中学校体育大会派遣交付金…… 70万円
- ▷要・準要保護児童生徒就学・医療援助…… 320万円
- ▷要・準要保護へき地学校給食費補助…… 432万円
- ▷言語障害指導設備々品、身心障害訓練用具…… 97万円
- ▷義務教材・理科・産業教育設備…… 1,517万円
- ▷教材・図書・校用器具備品購入…… 533万円
- ▷学校保健業務…… 521万円
- ▷スクールバスの運行…… 308万円
- ▷檜山北高通学バス負担…… 66万円
- ▷今金幼稚園舎前環境整備遊具備品購入…… 850万円
- ▷今金町青年会議補助…… 180万円
- ▷婦人団体、文化協会補助…… 52万円
- ▷町民スポーツなど体育振興補助…… 467万円
- ▷総合体育館施設運営費…… 1,652万円
- ▷学校給食センター施設運営費…… 2,550万円

地域産業の振興と開発

- ▷山村地域農林漁業特別対策事業補助…… 6,055万円
- ▷転作促進特別対策事業補助…… 1,500万円
- ▷第2次農業構造改善対策事業補助…… 4,677万円
- ▷土壌改良事業補助…… 450万円
- ▷優良雌牛導入、家畜増殖改良事業補助…… 400万円
- ▷乳用雌牛集団放牧促進事業補助…… 310万円
- ▷日進高原模範牧場経営補助…… 870万円
- ▷模範牧場特別土壌改良事業補助…… 274万円
- ▷農漁村動力電気導入事業補助…… 979万円
- ▷鈴金地区基幹排水対策特別事業負担…… 2,711万円
- ▷日進地区水道移設事業…… 150万円
- ▷豊田地区小規模農用地整備事業…… 738万円
- ▷白石第2地区農免農道整備事業負担…… 1,053万円
- ▷日進地区開拓地農道整備事業負担…… 665万円
- ▷日進地区農免農道整備事業負担…… 1,753万円
- ▷八束ほ場整備事業負担…… 2,488万円
- ▷田代地区農地開発事業負担…… 765万円
- ▷国営土地改良調査事業…… 201万円
- ▷町有林・公有林整備事業…… 1,413万円
- ▷北部檜山総合かんぱい推進費負担…… 241万円
- ▷今金町農業開発協議会負担…… 288万円
- ▷商工会事業補助…… 640万円
- ▷観光開発事業…… 212万円

たくましく生きぬく人間形成に努力

教育行政の施政方針



第一回定例町議会で、中井教育長から本年度の教育行政施政方針が述べられましたので、そのあらましを紹介します。

＊　＊　＊

【中学校統合校舎の建設計画】

教育内容の高度化に伴って学校における施設設備の充実、学校環境の整備さらに専門性が発揮できる教育条件を整えるため、次の観点にたって統合中学校の建設計画を進めます。

今金町の地域に密着した教育、文化、スポーツを総合的な形でとらえ、密度のある活動ができるよう全町的な視野より考察し、今日的物質文明のおう歌する偏重性を強く認識し、児童生徒が精神的な負担を極めて軽らげるような学校建設に意を用い、ゆとりある充実した施設の完備を強調いたします。

特に、敷地については田園の中央に位置し、清涼な空気と清らかな河川と太陽に恵まれた立地条件下にふさわしい学校づくりを基調とし、各地域の生徒が一同に会し将来的人間形成の学園として、豊かな情操をはぐくむための環境保持に意を用いたいと存じます。

【学　校　教　育】

五十四年度檜山管内の教育推進重点は

一、ひとり一人の適性を伸ばす教育活動の工夫に努める。

二、自ら学ぶ力を身につける学習指導の実践に努める。

三、豊かな徳性を育てる学校生活の推進に努める。

以上の重点項目を基調として、「ひとり一人の適性を伸ばす」教育活動は、児童生徒がもつ可能性の伸長を図り、人間性豊かな児童生徒を育成するため学校の創意を生かし、ゆとりある充実した教育活動をすすめることであります。

町内各学校においては、創意に満ちな実践に生きる教育計画を指向し、教育目標の具現化を組織的が、今後更に教育課程の基本改善の趣旨を理解して、教育活動の充実に努める必要があります。そのためには、教育計画、指導方法、学校経営等について更に改善充実を計ることが大切です。

「自ら学ぶ力を身につける学習指導」は、日常から児童・生徒ひとり一人の学習力を的確に把握し、積極的に教材研究を深め着実な指導援助を行い、自ら考え正しく判断できる力を育成することであります。

各学校においては、磨かれた知性を培う学習指導の充実を目指して指導内容の重点化や指導方法の改善に努め、児童・生徒ひとり一人の能力、適性等に配慮した学業指導の充実、新学習指導要領や移行措置等の研究などについて、なお一層の努力が必要となります。

「豊かな徳性を育てる学校生活の推進」は、道徳教育を通して望ましい道徳的判断力、心情等を養い社会における個人のあり方についての自覚を主体的に深め道徳的実践の向上に努めることであります。

各学校においても豊かな心を育てる道徳教育の深化を指向し、指導の充実を図ります。

【社　会　教　育】

一、豊かな人間性を育てる社会教育の推進

二、地域の教育力の向上

三、青少年の健全育成

四、スポーツ・レクリエーションの振興

五、文化財の保護と活用

六、人権教育の推進

七、同和教育の推進

八、社会教育施設の整備

＊　＊　＊

【社　会　教　育】

幸い今金町教育研究会においては、現行サークル活動も着実な実績をとおして実践力を高めつつあり、今年度から道徳と特別活動の領域のサークル研究がなされることになっており、そのための研究助成の増額をいたしました。

▽学校保健では、昨年新しく実施した眼科検診と合わせて児童生徒の健康管理に対処する。

▽学校給食は、今年度より週二回の米飯給食を実施する。これによる給食費の値上げは行わない。

▽今金幼稚園舎の建設に伴う環境整備を実施する。幼児教育、園経営に責任ある立場を考え、専任の園長をもって経営する。

▽学校営繕は、いずれも危険校舎の対象となり、中学校統合等を考え必要最少限度の補修で配慮する。

▽教員住宅は、中学校統合時期等を考え合せ、できるだけ借上等を考慮して対処し、今年度は豊田校の学校増により教員増となるので、へき地住宅一棟一戸、今金融資住宅一棟二戸を建設します。

【社　会　教　育】

▽自らが学習活動や実践活動への積極的参加の啓発に努め、特に一般成人の個人学習の促進、民間有志指導者の活動の場の拡大、広報活動の促進に積極的に取り組み、町民が自ら学び連帯感を高め、人間性豊かなコミュニティづくりを促進し、生涯教育の充実をめざして自発的、主体的な社会活動を進めるよう努力いたします。

▽町民が生涯にわたって充実した健康な生活を送るためには、日常生活にスポーツを積極的に取り入れ健康と体力づくりを努めなければならない。そのためにもスポーツ活動を行う場と機会の拡大に努めると共にプログラムサービスやスポーツ教室の開設を促進し、既存団体の育成強化を図る。

総合体育館をはじめ学校開放事業の促進に加え、今年は野外施設として開発グラウンドの拡張を図ります。

▽ふる里を知り、人々の心のうおいと町の香り高い文化創造のために、日常の創造的活動の促進、読書の普及、文化財の教育的利用の促進を図り、精神文化の調和を目指した文化振興に努める。

▽青少年会館の利用は、中学校建設と相まって新しい教育の場として地域コミュニティ施設として有効に利用する。

＊　＊　＊

以上により、本町教育行政の成果を期し、児童生徒の知・徳・体の調和のとれた学校経営に努め、健康で明るい社会教育の充実発展のために努力する決意であります。

特別会計のあらまし

三会計で十一億七千万円　国保税は一九%増を見込

◇国民健康保険会計事業勘定

新年度当初予算総額は五億六千五十五万六千円で、前年度予算額に比べて一六・五%増となっています。

歳入は、三億九千八百二十六万円の国庫支出金と一億五千八百六十四万六千円の国民健康保険税がおもな財源ですが、毎年増え続ける医療費、特に療養給付費の一五%、高額療養費の三九%増に対応するため財政調整基金から二百万円を繰り入れるなどして被保険者の負担を極力軽くするように努めました。

それにより本年度の保険税は前年度実績に比べ一九%の増を見込みました。これは、一世帯平均十一万七千六百九十円、一人平均三万百六十四円になりますが、国からの臨時交付金と被保険者の所得が決まる六月の賦課期日には、若干負担が減って税率が確定します。

歳出では、療養、高額療養、助産、葬祭などの保険給付費に五億三千八百七万九千円、納税組合奨励費に二百二十四万九千円、基金積立金に八十八万三千円、予備費に五百万円などが計上されました。

◇国民健康保険会計施設勘定

予算総額は五億七千九百三十二万五千円で、前年度当初予算に比べ一四・六%増となっています。

収益的収入は、入院・外来など病院事業収入が五億六千四十九万円が見込まれ、収益的支出では人件費や医療費用に五億五千九百四十九万二千円が計上されました。また、資本的支出として建物修繕費、企業債償還金などに一千八百八十三万五千円が計上され、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額一千八百五十一万三千円は、繰越利益剰余金で補てんされます。

◇簡易水道事業特別会計

予算総額は三千五百二十八万八千円で、前年度当初予算に比べて一七・八%増となっています。

これは、中央線通りの改良に伴う配水管布設工事費五百五十三万円の計上によるものですが、歳入では水道使用二千二百四十六万九千円、一般会計からの繰入金七百十八万円、町債四百四十万円の見込みにより、本年度は料金改訂を据置く方針です。

◇町職員の人事◇

【四月一日付】新採用▽国保病院看護婦　千葉啓子、秤谷玲子、塩野谷淳子

退職【三月三十一日付】浅井妙子（福祉課保健婦）【四月五日付】松本幸子（国保病院薬剤助手）

社会教育指導員に　蝦名義重さん



子どもからお年寄りまでの生涯教育を担当する町教委の社会教育課社会教育指導員に蝦名義重さん（60歳）が着任しました。

蝦名さんは、昭和二十二年久遠中学校を皮切りに今金中学校の校長職に至る三十一年間を教育に情熱を注いでこられた方です。

社会教育指導員は、社会教育全般の指導と学習相談並びに社会教育団体の育成を行うことになりますが、「社会教育の領域の広さと、多様性にとまどいながらも、サービス精神に徹した活動をしたい」と意欲を燃しています。

趣味は絵画、スポーツではスーが得意なので、暇をみつけて大いに楽しみたいと語っています。

コミュニティ

暮らしの中の自治用語

現代はマイホーム主義の時代といわれています。地域社会も激しい人口移動、生活様式の都市化、核家族化などによって著しく変化し、住民相互の結びつきはますます薄くなっています。

その結果、生活環境の悪化、人間疎外など多くの社会問題が生じています。

このような現代社会で、うるおいのある住みよい地域社会を築くためには、単に道路、下水、学校などの公共施設を整備するにとどまらず、地域住民相互の信頼と連帯感に基づいたコミュニティ（近隣社会）の育成が必要と考えられます。

現在、国や地方自治体で進められているコミュニティ対策は、このような新しいコミュニティを積極的に育成するものです。

そのため、地域ごとに計画をつくり街路、公園、コミュニティセンターなど地域に即した総合的な公共施設の整備を図るとともに、その計画、運営に地域住民の参加を求め、コミュニティ活動を積極的に推進することを目指しています。



"わが家のアイドル"

竹内信夫さんの2女（南栄町）
亜美（つくみ）ちゃん　2歳
『キューピーちゃんと呼ぶと、はずかしそうに照れますが、ピンクレディーの大ファンなの』

写真募集中　3歳までのお子さんの日常のスナップ写真をお寄せください。－企画課広報係－

ビートづくりの経営改善共励会

複合経営の八束栄地区

道南で初の知事表彰

道主催の五十三年度てん菜経営改善共励会で、八束栄地区てん菜生産組合（代表中野秀勝さん）が複合経営の部で見事、優秀賞に選ばれ、このほど町長から知事表彰が伝達されました。

この共励会は畑作、多収穫、復合経営の三部門で道内の農家がそれぞれ、日ごろの工夫を競い合うものですが、稲作地帯ではとかく敬遠されがちなビート栽培なだけに、道南での共励会優秀賞は今回が初めてという。

八束栄地区の農実六戸で構成している生産組合は、現在、五二㌶の耕地に水稲二五㌶、畑作二二㌶と乳牛六頭、肉牛五頭を所有し、五十三年度てん菜生産組合を設立して以来、土地改良を重点に堆肥の施用に努め、耕地の輪作体系に合わせた土づくりを進め、大きな成果をあげました。特に、ビートづくりは五・二二㌧を作付して二百九十㌧を生産、平均収量五四㌧と町内平均収量三九㌧を大巾にこえた実績が認められたものです。

受賞を喜ぶ中野さんは「今年は作付面積六㌶で平均収量七十㌧を目ざし頑張りたい」と意欲的です。



受賞を喜ぶ中野さんと中治夫さん

町政とくらしのガイドブックを配布

町の窓口業務や各制度の説明がお茶の間ですぐわかるようにと、三月末に「町政とくらしのガイドブック」を全世帯に配付しました。

記載内容は、みなさんが日常生活において必要な最少限度のことがらを一冊にまとめましたので、広報いまかねと同様、ご愛読の上ご利用ください。内容が変りましたらそのつど"広報いまかね"でお知らせします。なお、四月以降に転入された方で、お手元に届いていない方は、役場受付住民係へ申し出てお受けとりください。

心ふれあう演奏会を開催

日本フィルを歓迎する会

輪（わ）る（る）ひ（ひ）ろ（ろ）が（が）

日本を代表する素晴らしいオーケストラ"日本フィルハーモニー交響楽団"を北部檜山の地で演奏してもらおう―と音楽を愛してやまない音鑑サークルのみなさんが中心となって「日本フィルを歓迎する会」（会長杉本省吾）を結成、実現にむけて胸を高鳴らしています。会には今金、北檜山、瀬棚の音楽愛好者が手を携えて参加しており、三月二十五日、北海道公演中の日本フィル弦楽四重奏団を迎え、北部檜山で初の弦楽四重奏演奏会を今金町民センターで開催しました。久しぶりの生演奏とあって北部三町をはじめ南檜山、八雲方面から三百五十人余の人々が会場に訪れ、日本フィルの心で奏でるハーモニーを満喫（写真）。その感動の波は早やくもオーケストラを迎えようという心、声に大きく広がっています。



消費者とマーク

繊維製品の品質保証
キュー（Q）マーク

最近の衣料品は、生地をはじめ加工の仕方、デザインなどがバラエティに富み、種類も豊富になっています。このため繊維製品を安心して購入できるように、消費者にかわって専門家が製品を総合的に検査し品質が一定水準以上のものにQマークをつけています。

検査の基準内容は❶外観＝使っている生地に欠点はないか。裁断の仕方、縫い方、付属材料に問題はないか❷寸法＝JIS規格どおりか。表示のサイズどおりか❸性能＝色落ちはしないか、収縮性はどうか❹加工処理剤＝有害化学物質は使ってないか❺表示＝家庭用品品質表示法に基づいた表示があるかどうか。表示内容は適正か。などです。この検査は、通商産業省の繊維製品検査所をはじめ、公益法人である民間検査機関が実施しています。現在、検査対象になっている製品は、背広・コート・ワイシャツ・ブラウス・下着類等の衣服全般、ふとんカバーなど広範囲にわたっています。



"ある日のあなた"―写真をさしあげます。

■犬の登録と予防注射を行います

春の狂犬病予防注射と犬の登録は、4月24日から4月28日までの間、各地区に出向いて実施します。

生後90日以上の犬は4月中に必ず登録しなければなりません。また、狂犬病の予防注射は毎年、春と秋の2回受ける義務があります。

■国保の保険証は4月中に更新を

国民健康保険の被保険者証は4月から新しくなります。

新しい被保険者証は桃色で番号も変ります。4月中に更新しないと5月1日から病院などで保険の給付が受けられませんから、至急役場福祉課国保係に旧保険証と印鑑をお持ちのうえ手続きしてください。

なお、学生などで別に㊁の遠隔地保険証を受けたい方は、在学証明と世帯主の被保険証、印鑑をお持ちください。

■国民年金の保険料は忘れずに

国民年金の第4期分（1月分～3月分）の保険料の納付期限は4月末日です。まだ納めていない人は忘れずに納めましょう。なお、4月からの保険料は月額3,300円になります。

■国保病院の小児科診療日を増設

小児科専門医師による小児科診療は毎月2回（第1週・第3週の水曜日と木曜日の4日間を定期診療日と決めて開設していましたが、乳幼児の受診が多いことから、国保病院では第2週の水・木曜日も診療することになりました。

診療時間は、水曜日が午後1時から3時まで、木曜日は午前9時から11時までと従来どうりです。

■メップ川は遊漁禁止河川です

本年もいよいよ釣りのシーズンを迎えましたが、檜山管内では8つの河川が遊漁禁止になっており、本町では利別川支流メップ川が保護水面に指定され、すべての水産動物が1年中捕獲することが禁止されています。内水面遊漁者はご注意ください。

■町民センターの図書を貸し出し

町民センターの図書室では、現在4千冊余の各種図書をとりそろえて、町民のみなさんに貸し出しております。貸し出しの期間は1冊が1週間です。ご希望の方は午後1時から午後5時までにおこしください。

■労働保険の年度更新手続きを

雇用保険および労災保険に加入しているすべての事業所の事業主が53年度に納付した概算保険料を精算するための確定保険料と、54年度の概算保険料を同時に申告、納付していただく期間は4月1日から5月15日までです。更新事務相談は今金工商会で4月26日午後1時～3時まで行いますのでご利用ください。

■重度身障者にハガキを無料配布

郵政省は身障者福祉強調運動にちなみ"青い鳥はがき"を発行、1・2級の身障者に無料で葉書20枚を配布します。希望者は5月31日までに町内郵便局に身障者手帳を持参して申し込みください。

正しい敬語

敬語には三種類

私たちは日常の生活の中でいろいろな人と言葉を交わします。親しい友人や身内の者どうしのうちとけた言葉のやりとりもあり、初対面の人に話しかける場合や公の場所での改まった言葉遣いもあります。相手や場面にふさわしい言葉が使えることは、人間関係をスムーズにする上で大切なことです。それには敬語についての知識が必要です。本号から敬語を中心とした言葉遣いの問題をいろいろな角度からながめてみましょう。

敬語は、ふつう、尊敬語・謙譲語・丁寧語の三種類に分けられます。

「何をめしあがりますか」
「いつお帰りになったのですか」

相手の動作（食べる・帰る）を高めて「めしあがる」、「お帰りになる」と表現しています。これが尊敬語です。

会う→お会いになる・会われる
言う→おっしゃる・言われる、見る→ご覧になる。これらも尊敬語の類です。

「ちょっとお尋ねします」、「少々うかがいます」、「尋ねる」と言う代わりに「お尋ねする」、「うかがう」と言えば、相手に敬意を表したことになります。それは、へり下った言い方だからです。これが謙譲語です。

会う→お会いする・お目にかかる、言う→申し上げる、見る→拝見する。これらも謙譲語の類です。

それから、「ます」とか「です」とか「でございます」という言い方、これらを丁寧語といいます。

（次回は「自己紹介のしかた」）

みんなの手で河川をきれいにしましょう

川は私たち日常の暮らしのなかで、いろいろな恵みをあたえてくれる"いこいの場"でもあります。

五月は"河川美化月間"です。

これを機会に河川を汚濁から守り、河川敷地を緑地公園や運動広場など有効に活用しましょう。

なお、河川区域内で次のような行為を行うには河川管理者の許可が必要ですのでご協力ください。

▽工作物を新築・改築する時
▽土地を占用する時
▽土地の形状を変更する時
▽官民の境界杭は絶対に紛失・破損しないこと。

知事・道議選の投、開票結果

投票率は八七・九五%（知事）

私たちの代表として、これからの四年間、道政を託する北海道知事と道議会議員選挙は、四月八日いっせいに投票が行われました。

今金町の投票率は八七・九五%（男八九・〇七%、女八六・九三%）と前回に比べ〇・九五%の減で、檜山管内平均の八八・七九%より落ちこみ、十町の七番目の投票結果に終わりました。

即日開票は町民センターで午後八時から始まり午後十時十三分に終了、開票の結果、知事選挙では五十嵐広三＝一、〇八四票、堂垣内尚弘＝三、二九九票、坂本和＝三五票、無効投票が七十四票です。

道議選挙は左のとおりですが、無効投票は白紙投票十九票のほか、他事記載が九十二票もありました。

知事選挙投票区別の投票率

投票区名	有権者数（当日）	投票者数	投票率	回投票率（前）
1 美利河	182	158	86.81	88.48
2 花石	184	171	92.93	83.96
3 中里	102	95	93.14	92.24
4 住吉	71	66	92.96	95.59
5 種川	597	524	87.77	88.72
6 奥種川	20	20	100.00	82.61
7 八東	313	287	91.69	88.33
8 金原	315	281	89.21	91.82
9 豊田	167	151	90.42	91.81
10 神丘	375	303	80.80	83.24
11 日進	59	54	91.53	93.75
12 町民センター	1,725	1,489	86.32	88.03
13 役場	2,139	1,891	88.41	90.10
14 白石	109	102	93.58	88.79
計	6,358	5,592	87.95	88.90

道議選檜山管内候補者別得票

	松崎義雄（無現）	小沢栄吉（自現）	小田原要四蔵（社新）
江差町	3,805	497	4,072
上ノ国町	2,735	638	2,257
厚沢部町	2,255	710	1,485
乙部町	1,390	1,289	1,274
熊石町	797	1,469	1,112
大成町	600	1,504	581
奥尻町	1,009	1,738	524
瀬棚町	102	1,937	385
北檜山町	297	3,304	1,387
今金町	711	3,249	1,518
計	13,701	16,335	14,595



■婦人文化祭の不用品即売会が好評

恒例の町婦連協主催の第六回婦人文化祭が三月十三日、町民センターで開かれたが、婦人に人気の不用品即売会は、町内呉服店の寄贈品を含め四百点の衣類品が百円から買えるとあって、店開きと同時に大半が売り切れた。

住民の動態

前月に比べて

人口 9,438（＋9）
男 4,615（＋4）
女 4,823（＋5）
世帯 2,705（＋2）

（2月28日現在の住民基本台帳人口）

◇おたんじょうおめでとう

花井 志信3/4（一信 長男）八幡町
黒宮 広行3/6（一三 二男）中里
楠原 睦未3/6（義光 三女）大和町
斉藤 功一3/10（人守 長男）大和町
白山 充3/4（晃 長男）鈴岡
阿部 達也3/17（彰 長男）寒昇
大平真由美3/18（政三 長女）日進
長谷川正人3/20（正美 二男）元台
佐竹美紀子3/23（紀道 長女）花石
南川恵里佳3/26（豊 四女）豊田
丸山 友子3/27（友平 長女）美利河
清水 淳子3/27（健一 長女）種川
上田美恵子3/28（富男 二女）種川
藤原 健利3/2（弘一 長男）大和町

◇いつまでもしあわせに

山崎 仁＝武山 和子 神丘
津村 好晃＝矢内 明美 鈴金
下本 正守＝山崎 しとみ 稲穂

◆おくやみもうしあげます

米安 良一 3/1 十五歳 本広町
水野 あき 3/4 八十歳 末広町
鎌田栄五郎 3/4 八十一歳 稲穂
柴田 いせ 3/19 六十二歳 旦の出町
山小 サタ 3/20 七十三歳 大和町
長谷 ギン 3/21 八十二歳 神丘
中野太喜男 3/23 七十七歳 神丘
安達 利 3/26 六十三歳 花石
中島 新作 3/27 五十五歳 住吉

発行・北海道今金町役場
編集／企画課広報係 印刷／㈱長門出版社 54・4・20

＝広報＝トピックス



■交通安全運転を願いモチを配る

「おもちを食べて、ゆっくり運転を」と、三月十六日町交通安全指導員と婦人会が役場前国道ぶあで北檜山警察署員がつき上げたもちをドライバーにプレゼント。思わぬサービスにドライバーは「スピードダウンを心がけます」と早速もちをほうばりニコニコ顔だった。